

全国から

求職者11人

JAグループ山形
広報懇話会で報告

【山形】JAグループ山形は26日、山形市の県JAビルで報道機関各社と月例の広報懇話会を開いた。サクランボの労働力確保対策についてJAグループ山形地域・担い

手サポートセンターは、JAの無料職業紹介所と連携して3月開設した全国求人サイトを通じ、24日現在で東京や栃木、神奈川、京都などから11人の求職応募があることを明らかにした。

うち、20代の女性1人は、JAさがえ西村山管内で5月から作業に従事する方向で最終調整に入っているとした。

一方、サクランボを含めた果樹産地の維持・発展に向け、栽培技術や園地・施設などの経営基盤を農業法人経営に取り込んで次代に継承していくため、県地域営農法人協議会に果樹作導入研究部会を設置。果樹作経営モデルの策定を進めていることも報告した。